

頑張る学校・地域！応援プロジェクト 通信

No.4 2020年12月21日(月)

発行責任者 下野市立国分寺中学校 教頭 生井厚志・地域連携教員 石崎真清

TEL0285-44-0050

国分寺東小で読み聞かせを実施しました

12月7日(月)読み聞かせボランティア・サークル「ほがらか文庫」の方々と一緒に、中学生が、国分寺東小学校各学年の全クラスで、小学生への読み聞かせを行いました。今まで2回ほどボランティア・サークルの方に練習を見ていただき、さらに自主練習を重ねて本番に臨みました。

<国分寺東小児童の感想>

- ・中学生のおねえさんが本をよんでくれて、とてもわくわくしてきていました。お話がしょうずでたのしかったです。(小1女)
- ・中学生の本を読む姿はとてもかっこよく、読み方もとても上手でした。ぜひまた読んでほしいです。(小4男)
- ・知っている中学生が一生懸命本を読んでいる姿を見て、私も中学生になったら小学生に読んでみたいと思いました。(小6女)

<国分寺東小教職員の感想>

- ・最初、中学生の緊張している姿を見て、子供たちも緊張感をもって真剣に聞こうとしていました。中学生の読む姿は、一生懸命で、結構内容のある本を読んでもらえたこともあり、沢山練習をしたことが感じ取れました。
- ・普段聞いているほがらか文庫の方のお話と雰囲気が違い、また、知っている中学生が読んでくれたこともあってか、子供たちは本に引き込まれていました。このような機会がまたあるとよいし、ぜひ継続してほしいと思いました。
- ・なかなか交流活動ができない中で、中学生が学校に来てくれたこと、そして本を読んでもらえたことは、子供たちにとってとてもよかったと思います。実施するまでに中学校では、計画や練習等大変だったことと思います。ありがとうございました。

<ボランティアの方の感想>

- ・練習の時よりも、上達していて驚いた。
- ・決められた時間の中で読み聞かせを行うのは難しいが、どの生徒もよくできていた。中学生は、立派だと感じた。この活動を今後も続けてほしい。

<生徒の感想>

- ・初めて人前で読み聞かせをした。すごく難しかったし、緊張したけれど、楽しかった。
- ・皆が真剣に聞いてくれた。最初はとても緊張をしていたけど、読んでいくにつれて慣れてきて、皆に伝わるように読むことができたので、とてもうれしかった。



国分寺東小では、以下の2つのボランティア・サークルが読み聞かせを行っています。興味のある方は下記へご連絡ください。

〈ほがらか文庫〉 代表、連絡先については本通信第3号をご覧ください。

2001年7月より活動。現在14名が登録しており、毎月1回、国分寺東小全クラスで朝の読み聞かせを実施。

〈おはなしポケット〉 代表 関矢奈保美様 TEL 43-1567

1986年より活動。現在5名が登録しており、国分寺東小の授業の中で年6回(各学年1回ずつ)読み聞かせを実施。また、国分寺図書館で月1回「おはなし会」を開催している。

国分寺東小で里山活動を実施しました



国分寺東小出身の1年生が、12月7日(月)～11日(金)まで1クラスずつ国分寺東小の「わくわく広場」落ち葉清掃を行いました。

この落ち葉と、国分寺東小児童が毎日の清掃で集めた落ち葉を国分寺跡に運び、11月に実施した、本校2年生による国分寺跡周辺雑木林の清掃で集めた落ち葉や、12月17日の下野新聞でも紹介された、国分寺小4年生による里山活動で集めた落ち葉と一緒に、市文化財課並びに下野市シルバー人材センターの方々の協力を得て腐葉土にし、地域の方々や各施設等へ配布する予定です。



〈シルバー人材センターとは〉

シルバー人材センターは「高齢者の雇用の安定等に関する法律」に基づき、全国に設立されている公共的・公益的な非営利団体です。

定年を迎えた方、家業を子どもに譲られた方、そして健康で家に閉じこもるにはまだ早いと考えておられる高齢者の方々が、豊かな経験・能力を活用し、就業を通じて地域社会への参加と貢献を図ります。

〈シルバー人材センターの基本理念〉

「自主・自立、共働・共助」がシルバー人材センターの基本理念であり、私たちが目指す理想です。

自主・自立：自ら運営に参加し、自分たちの力で育てる。

共働・共助：互いに協力し仕事を分かち合い、助け合いながら働く。

〈センター概要〉

名 称 公益社団法人 下野市シルバー人材センター

TEL 0285-47-1124

FAX 0285-47-3270

公益社団法人 下野市シルバー人材センターHPより一部抜粋